

平成29年度 あきたスマートカレッジ (報告)

特1～3：特別講座

会場：秋田県生涯学習センター 3階 講堂

【趣旨】県民が秋田の良さや秋田を動かしている人を知り、自らの行動の原動力となるような学びの機会を提供する生涯学習講座を地域の枠を超えて実施することにより、あきたスマートカレッジの普及啓発や県民の地域理解と社会参加を促進し、その成果を適切に生かすことのできる生涯学習の構築を目指します。

講座記号	期 日	テーマ	講 師	参加者数
特1	2月16日 (金)	「古代の人々の祈りと造形」 ～縄文から天平時代まで～	秋田県立近代美術館 館長 仲町 啓子氏	80
特2	2月24日 (土)	「文化史の中のマザーグース」 ～イギリス伝消火用の世界～	秋田大学教育文化学部 副学部長・教授 佐々木 和 貴氏	69
特3	3月10日 (土)	「夏目漱石から見た後藤宙外」 ～没後80年に寄せて～	秋田県生涯学習センター シニアコーディネーター 北条 常久	89
				合計 238名

講座が少ない冬場に、今年度は3講座を企画しました。1回目は、秋田県立近代美術館の仲町啓子館長から、2回目は、秋田大学教育文化学部の副学部長佐々木和貴教授から、3回目は秋田県生涯学習センターの北条常久シニアコーディネーターからそれぞれの専門分野についての講座を行いました。

1回目の講座は、横手市にある近代美術館館長講話です。この講座は、「いつも横手市で行っているため、参加できる人が限られている、何とか秋田市でもできないものか」というご要望にお応えして開催することができました。講話の内容は、今年度、横手市にある



近代美術館で行った7回シリーズの凝縮版です。時代を追って「呪術と造形－縄文のヴィーナスと土器」に始まり「天平時代－唐風文化の全盛」までの内容で、造形の中から人々の祈りの形をひもといてくださいました。参加者からは、「横手市に行かなくても素晴らしい内容の講話を聞くことが出来る、またこのような講座を企画して欲しい」等のご意見が多数寄せられました。また、3回目の北条シニアコーディネーターの講座は、後藤宙外のゆかりの地である美郷町へ赴き実施しました。普段は秋田市に来ることがなかなかできない方々も参加し、後藤宙外という地域の偉人について学ぶことができました。

いつも講座を行っている場所を離れ、遠隔地で講座を行うことは、学ぼうと思っても移動手段が準備できない、体力的に参加が難しい方々に学習の機会を提供できます。また、秋田市で行われている講座をライブ配信するなどの工夫をすることで、高齢者や身体に障害をお持ちの方々ももっと気軽に講座に参加できるのではないのでしょうか。